



「弟子屈高校ってこんなところなんだ」

弟子屈高校(木村浩士校長)で7月20日、中学校3年生を対象とした「1日体験入学」が行われました。同校の教育活動への理解を深め、進路決定の際の参考にしてみようという毎年行われているもので、53人が参加。特色ある授業や部活動を体験し、同校の魅力と高校生活に触れました。(関連記事2~5ページ)

Public relations magazine

2016.9

No.745

てしかが

主な内容

- 弟高という選択……………②
- 協力隊通信……………⑥
- ふるさとづくり人材育成事業……………⑦
- 元気いっぱい!ほくらの旅!!……………⑧
- 防災ワンポイントコーナー……………⑫
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……………⑭

むかしむか史(311)

てしかが歴史写真館 185



釧路根室オホソク十勝管内11市町による「阿寒摩周国立公園」への名称変更に対する要望書提出今年4月

50年越しの悲願達成へ

2005(平成17)年に編さんされた弟子屈町史の「阿寒国立公園」の中から一部抜粋します。

国立公園の面積の大半が本町域に属していることと、摩周湖・屈斜路湖など、国立公園内の著名観光資源が数多く本町内に属していることから、昭和30年代以降、観光開発と観光行政の見地より、公園名称の変更(改称)運動が起こり「阿寒・摩周国立公園」に改めてほしいと、国や関係機関に要望を続けてきた。さらに、1968(昭和43)年になって、一部から「阿寒・屈斜路・摩周国立公園」とするよう要望が出されたが、これは先の運動を混乱させるということで、一度立ち消えになったという経緯があった。

その後、幾度も本問題に関する議論が行われ、1994(平成6)年の阿寒国立公園指定60周年の際にも、名称を「阿寒・摩周・屈斜路国立公園」とすべく町内外における運動も行われている経緯があるのだが、今なお本問題については解決をみない状態にある。

地元の住民が思うほど、阿寒国立公園の中に摩周湖や屈斜路湖が含まれていることを知る来訪客は多くありません。だからこそ、観光を町の基幹産業の一つとして位置付けるわが町にとっては、名称に「摩周」や「屈斜路」の文字が含まれることに大きな意味があります。

順調に事が進むと、来夏の観光シーズン中に「阿寒摩周国立公園」が誕生します。町の歴史に新たなページが加わる瞬間です。町民としても、これからの1年はおもてなしの心にさらなる磨きをかける準備期間にしたいものです。

てしかが郷土研究会(斎藤)

てしかが 2016.9

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています